事業所名　NPO法人　きなんせこども館

支援プログラム（児童発達支援）

作成日　2026 年　4 月　1 日

法人（事業所）理念		三つの柱　＊子供たちの育ちを大切にします。　＊ご家庭の子育てを応援します。　＊地域の中で育ちを応援します。		
支援方針		子どもたち一人ひとりの個性と才能を大切にしながら、様々な生活場面や数名のグループ活動（2～３名）の中で情緒の安定をはかりながら、自己肯定感をどこまでも気長に育って伸ばしていきます。子どもたちの強みを生かし楽しみを見つけます。一人ひとりに合わせた課題を見つけます。地域に貢献します。他の療育・教育機関との関係を大切にします。お家、学校以外の居場所として安心して過ごせる環境を作ります。		
営業時間		午前　10 時　0 分から　17 時　0 分まで	送迎実施の有無	あり
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	＊健康状態の把握と対応　*生活習慣や生活リズムの形成　＊視覚的支援等による環境改善　＊医療的ケア児への適切なケアの実施　＊基本的生活スキルの獲得 ◎心身の健康の把握のため定期的な健康チェックを行い、生活リズムの安定をはかります。排尿、食事、衣服の脱着、身だしなみ等、生活に必要な基本的技能を獲得し、生活習慣や生活リズムが身につけられるように支援します。医療的ケアの必要なお子様をお預かりできるように看護師が常勤し支援を行っています。		
	運動・感覚	＊児童の特性に合わせた運動（姿勢と運動・動作・移動能力）　＊感覚の特性　＊遊び環境の調整 ◎視覚、聴覚、触覚等を十分活用できるよう遊びを通して支援し、感覚や認知の特性に合わせた環境調整等の支援をします。		
	認知・行動	＊一人ひとりの認知特性と対応　＊遊びながら認知や行動の手掛かりとなる概念形成 ◎物の機能や属性、形、色、音、大きさ、数、重さ、空間、時間等の概念化を図り、認知や行動の手がかりとして活動できるように支援します。		
	言語 コミュニケーション	＊個々のコミニケーション手段の獲得　＊状況に応じたコミニケーション能力　＊言葉、身振り、サイン、表情等のコミニケーション能力の獲得 ◎自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするための必要な行動を、適切な場面で発揮できるよう支援します。環境の理解を促し、場や相手の状況に応じてコミニケーションを展開できるよう支援します。		
	人間関係 社会性	＊他者への関心、集団への参加、仲間づくり　＊遊び方、ルールの理解　＊感情コントロール　＊SST ◎本人の遊びの段階、他者への関心の状態の状態などを把握し、支援しています。集団遊びの時間を通して、順番に行う、ルールを守る、友達と協力する、失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活して行くために必要なスキルを身に着ける機会を作ります。友達との関り方に関して、支援員が見本を見せたり、助言したりして、肯定的な関りが増えるように支援します。		
家族支援		＊保護者会の開催　＊家族の相談援助　＊家族のレスパイト時間の確保・就労等による預かりニーズに対応するための延長支援 ◎困りごとがあった時には管理者・児童発達支援管理責任者にいつでも相談できるる環境を整えます。家庭環境、就学等に関する心配等の悩み等が軽減するよう支援します。	移行支援	＊ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備　＊同年代の子どもをはじめとした地域における仲間作り ◎就園、就学に向けた生活習慣。就園就学先の施設見学。就園、就学先との支援方針や支援内容の共有。併行利用先と支援内容の共有。
地域支援・地域連携		＊通所する子どもに係る地域の関係者、関係機関と連携した支援 ◎保育、幼稚園等の支援方法や環境などに関する相談援助をします。利用計画の作成又は見直しに関する会議の開催を行います。医療機関等との情報連携や調整をします。	職員の質の向上	＊事業所内研修の参加・派遣　＊外部研修への参加・派遣 ◎内部研修を行い、障がいへの理解を深めたり、新しい支援方法を学んだりします。毎日のスタッフミーティングで、本人の支援方法に関する情報を共有します。
体験・経験（行事等）		＊博物館、体験施設等への活動 ＊館内での行事（夏の水遊び、夏祭り・ハロイン・クリスマス会等）季節に応じた活動 *避難訓練（地震・火災等年２回以上）・熱中対策指導・交通安全指導等		